

「創造・体験・流儀」

1. 「砂時計」

右掲は、砂時計をイラストしています。しかも、この砂時計はひっくり返す事のできない「人生」というものです。若い頃には、ふんだんにあると思っていた「未来」が、どんどん消化してしまい「過去」として積んで行っているのです。1日は24時間ということは、万人に共通するのですが、その貴重なかけがえのない時間を「今」消化しているのです。

私は、昭和24年7月11日生まれですから、満63才6ヶ月になっています。一年浪人して大学に入り、無事卒業して就職して現役生活が40年にもなります。この現役時代の大半は、コンピュータを通じた業務改善でありました。

会社に入った時に、先輩から「時間は売っても心は売らない」という事を教わりました。先輩のいう意味とは違いましたが、自分がワクワクする事、すなわち、コンピュータの導入という事に「身も心も」という状態で頑張りました。発展途上だったコンピュータ(例:IBMシステム/32というオフコンは、CPU:32KB、Disk:13.7MBというスペックで、3742データ入力機とセットで約1800万円)を使って、先行する同業他社に負けないシステムづくりに励みました。当時の福井社長も「クルマが売れるコンピュータ」という生涯のテーマを与えて下さり、それこそ、自由にさせてくださいました。

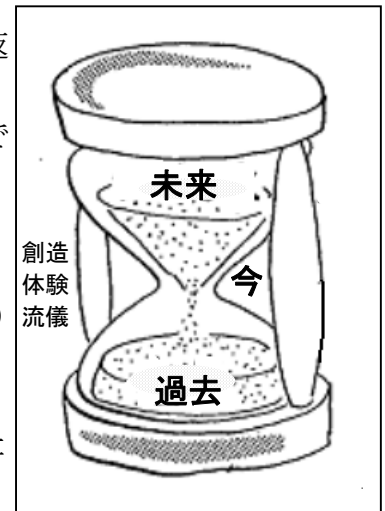
この頃は、「未来」が沢山残っていましたから非常に楽しく、コンピュータの発展とともに守備範囲を拡大して、ついには、全社オンラインシステムを構築するという事まで実現することが出来ました。コンピュータの端境期、大体、4年毎に機種を入れ替えたのですが、4年のうち後半の2年は大きな課題もない状態なので、他社の誘いもあって、この端境期によその会社のソフト開発を行い、3年間で約1億円を稼ぎました。この他社での開発経験で、例えば、生産管理や異機種との同期通信(APPC)などという自社では経験できないことも体験しました。

また、トヨタ自動車のプロジェクトで物流改善のモデル店になり、トヨタの改善チームと4年間お付き合いして「トヨタ方式」を体験したのです。同時に、IBMの戦略システム構築プロジェクトも受けて「CRM」をテレ・マーケティングで実践するシステムを構築して業績に貢献したのです。しかし、過ぎたるは及ばざるが如しと言いますが、頭を持ち上げ過ぎて営業部門との摩擦になり、政治的な構図の中で「負けた」という状況で、自らの判断で関連会社に転籍したのです。

2. 「人間、塞翁が馬」

私は、福井社長に「社長はクルマの道、私はシステムの道を歩みたい」と辞表を出して「志」を大切にしました。「志」は「士」+「心」です。武士道の心を大切にしました。関連のIBM特約店をしている会社に営業部次長として転籍したのですが、この3年間の中で、船井総研との出会いがあり、本格的に経営コンサルタントを志して、平成6年11月に客員経営コンサルタントの資格を取得したのです。

「人間、塞翁が馬」という言葉がありますが、よいと思った事が災いしたり、「もう、こんな」と思うような事が福に転じたりと分らないものですが、私の人生もこの通りでありました。経営コンサルタントとして独立して18年になろうとしています。母は、60才になった時、「60からはおまけの人生や」と教えてくれました。確かに、砂時計のように「未来」は、どんどん少なくなっていますが、逆に、今までに蓄積したものがあつたのです。例えば、住宅も事務所もクルマもローンが終っていて、しかも、所得比例報酬で頂く年金や基金もあるので、稼ぐというプレッシャーからは大きく開放されていま



す。例えば、公的機関の報酬でも喜んで仕事ができる状態になっています。

3. 百歳現役

私は、今年、64才になりますが、「百歳現役」を目標としています。幸い、三男が事業を継承してくれるので、長年、蓄積した経験を活かせる場が公私両面であるのです。退任を幾つに設定するかで残る「未来」は大きく変わります。私は、息子やお客様に迷惑をかけない限り現役でいたいと思っていますので「百歳」をターゲットとして、残り36年の時間テーブルを活用したいのです。

「砂時計」にもあるように、「未来」もあり「過去」の蓄積は十分にあるので、「今」を元気に生きることがキー要素になります。この為に、未来に向かって元気になるという「創造」をウオーキングとダイエットの両面で実践しています。この毎日の「創造」をFacebookで友達に「体験」として公開しています。その為に、レコーディング・ダイエットを取り入れて「食事」と「運動」の両面をオープンにして、衆人環視の状況下で実践しているのです。

お蔭様で約8ヶ月が経過して、10kgの減量にも成功しています。何よりも「継続」している事でFacebook友達に刺激を与えるように反転して来ています。「人格」は評判という面もあるので、多くの方に評判になり、このやり方が「流儀」(態度)となりつつあります。この事は、仕事の面でも同じであり、経験を活かしたコンサル術、経験を活かしたシステム・コンサルティングの両面でおお客様の支持を頂けています。

「百歳現役」は、自分だけで実現できるものではなく、三男を初めとする若い人たちのパワーを引き出してこそ発揮できるものと考えています。システムもWeb・コンテンツもコンサルティングがあって、真のユーザビリティが発揮できるものと確信します。お客様に明瞭に説明できる「業界向けパッケージ」を軸にしてFit&Gapを展開して、その納入から実践へとコンサルティングして行きたいと思っています。

4. いくつになっても創造

私は、システムを活用するコンサルティングを目指して、18年前に創業する際、社名を**AMI: Advanced Management with Information**(情報を活用して先進的な経営をする)としました。この環境ができていたので、後継者を育成する事で幾つになっても「創造」的に生きることが可能なのです。幼い頃から夢みていたコンピュータを活用する仕事をこれからも継続できるのは大変幸せな事です。

その為にも、健康に時間を多く割いて、まずは、気軽に動ける体力を維持促進できるように、これからは「ダイエット&ウオーキング」を継続して行きたいと思っています。頭の柔軟性ですが、最近、カラオケに挑戦しています。若い時から音痴で歌は苦手だったのですが、若い時に感動した三波春夫さんの歌謡浪曲「俵星玄蕃」にチャレンジして、そのカラオケをパソコンのyoutubeで、およそ半年ほど、こればかりを歌い続けました。続けるとコツみたいなものが分り始めて、最近では、いろんな歌にチャレンジしても比較的容易に歌えるようになりました。

「創造」という前向きになり「体験」を継続すると「流儀」と昇華して行くのです。松下さんの「訓」

心が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、天命が変わる

のように、新しい「習慣」で「人格」(評判)を変え、そして、「天命」を変えてまっとうしたと思っています。そのポイントは「創造」⇒「体験」⇒「流儀」へとレベルアップさせる事と確信しています。

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryo.h>になれます！】